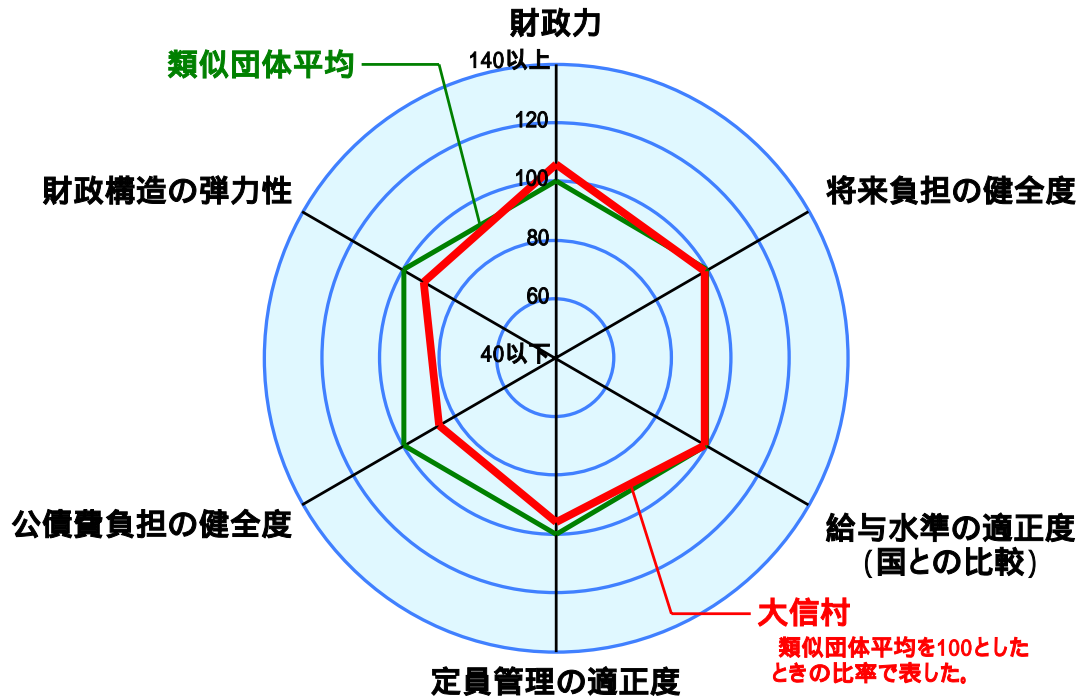
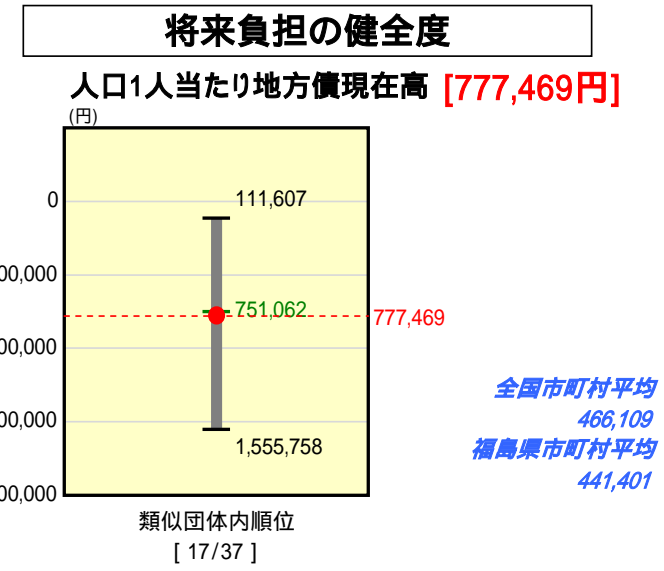
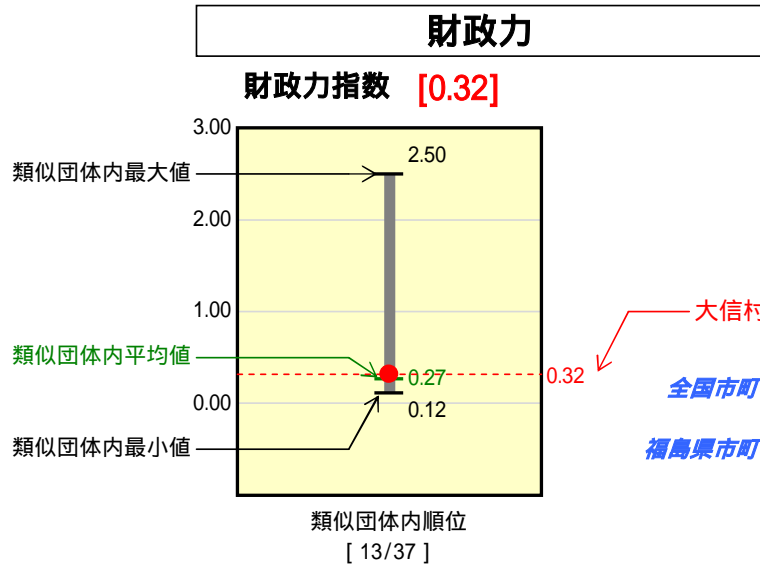


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福島県 大信村

人口	4,925人(H17.3.31現在)
面積	80.77 km <sup>2</sup>
歳入総額	2,557,086千円
歳出総額	2,388,534千円
実質収支	168,219千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**：類似団体の平均を上回っており、平成13年度以降上昇傾向にあるが、平成17年11月7日に合併し、新たな枠組みの中で、財産調査や差し押さえなどによる市税の徴収強化等により、更なる財政基盤の強化を図る。

**経常収支比率**：類似団体の平均値を上回っており、近年悪化している。起債に頼った普通建設事業(道路事業等)の実施などが原因となっており、退職者に対する補充率を70%程度にすることによる人件費の削減や、早期に財政健全化のための計画を作成することにより公債費を抑制し、財政の弾力化を図る。

**起債制限比率**：臨時地方道整備事業等道路関係の起債に対する償還額が多くなっており、平成14年度以降1.0ポイント上昇し、類似団体の平均値と比較しても高い状況である。平成19年度に起債の償還がピークを迎えるが、平成16年度以降、起債発行額を抑制しており、合併後においても早期に財政健全化のための計画を策定し、公債費の抑制に努める。

**人口1人当たり地方債現在高**：平成15年度までに実施した道路整備や施設整備(中学校屋内運動場等)の実施により、類似団体の平均値を上回っている。しかし、近年上昇していた地方債現在高は、平成16年度に減少に転じており、合併後においても、早期に財政健全化のための計画を策定し現在高を減少させる。

**ラスパイレス指数**：職員構成の変動により、対前年度比で1.2ポイント伸びており、類似団体平均値と比較しても0.2ポイント高い水準である。ラスパイレス指数には反映しないが、平成14年度以降管理職手当支給額の10%削減、特殊勤務手当の全廃などを実施し給与の適正化に努めてきたところである。合併後においては、統一された給料表を基に、職員間の給料格差の是正も含めて適正化に努める。

**人口1,000人当たり職員数**：類似団体平均値と比較して1.36人高い状況である。類似団体と比較して、保育所・幼稚園の職員(20人)が多いことが主な要因であるが、平成12年度から平成15年度までを計画期間とした総務省通知による定員適正化計画では、一般行政職2名減員としていたところを3名減員し、平成17年4月1日までにさらに3名減員となったところである。合併後も新たな枠組みで退職者に対する補充率を70%程度にすること等により、定員適正化に向けて努力する。

